

ほんのむし

「ほんのむし」とは、一般的に読書家のことを言います。芸能界きっての読書家だった児玉清さんの著書『寝てもさめても本の虫』よりこの名前を拝借しました。身延中にもいそうですね、「ほんのむし」が…

ようこそ！身延中図書館へ

7日に47名の新入生を迎えたと思ったら、1、2年生の校外学習が終わり、選手権大会も目前。毎日めまぐるしく過ぎていきます。何だかとっても、忙しい、忙しい。でも忙しすぎて、本当に目がまわりそうになった時には学校図書館へどうぞ！身延中の「憩いの空間」として、そして知りたい・読みたいという知的好奇心にこたえる「知の泉」として全校のみなさんを歓迎いたします。どうぞ、この1年間よろしくお願いします。

学校図書館の機能

学校図書館はただ「本を借りて、返す」場所だけではありません。学校図書館の機能は以下の4つです。



学習センター

学習活動をサポートしたり授業の内容を豊かにしてその理解を深める。

情報センター

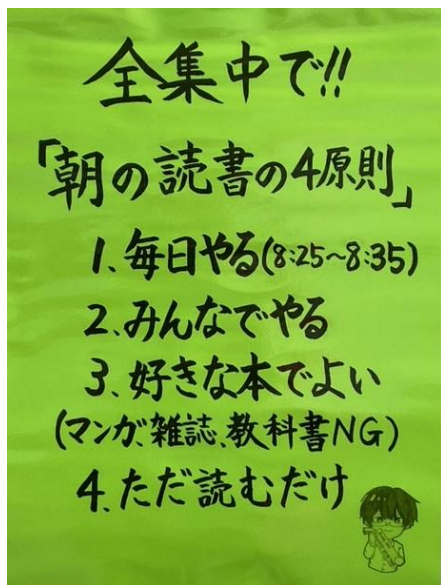
生徒や先生方の情報ニーズに対応したり、生徒が情報の収集・選択・活用する能力を育てる。

読書センター

生徒の読書の場であるとともに、生徒への読書指導・読書支援を行う。

生徒のオアシス

休み時間や昼休み、放課後など、教室とは違った空間で違った仲間と関わるができる場である。



「朝の読書の4原則」 今年度は近藤心優さん(3A)に書いてもらいました！



1日のスタートは朝読書から

新任式の歓迎の言葉の中で、生徒会長の小林君も「身延中は読書が盛んです。」と言っていました。今年度も読書を通して、「文化の香り高い」身延中学校をみんなの手でつくっていきましょう。

8時25分のチャイムと同時に身延中学校では年間を通して「朝読」を行います。この朝読は単に読書の機会を増やすだけでなく、朝練から学習モードへのリセットであったり、心を落ち着かせ集中力を養うためにもとても効果的です。

「1日10分から50分の読書を続ける人は学力が高い」というデータもあります。

家庭でも「すきま時間」をみつけて本に親しむ時間をつくってみましょう。



学校図書館ではこんなこともできます！学校司書・河野までお気軽に！！
○レファレンスサービス…調べたいことがらについて、資料の探し方や資料の提供ができます。ただし、宿題の答えは教えられないのでご注意ください！
○リクエストサービス…読みたい本が身延中学校にない場合、購入をしたり、他の図書館などから取り寄せることができます。
○読書相談…「どんな本を読んだらいいのかわからない」そんな人の相談にのります。みんなの心に響く本を紹介できるように、私も日々、修行中です(笑)



身延中図書館
オリジナルキャラクター
「栞(しおり)くん」
令和元年度図書委員長・遠藤夕さんが描き、昨年度、全校生徒の投票のもと、名前が決まりました！



人気の「この音とまれ!」最新刊入りました。貸し出し中の時は予約をしてください！



身延中ホームページでも読書の話を提供していきます。時々見てくださいね！